



かつやま

9 No.670 月号



「手助けするんだワン！」

9月2日に成器西小学校へ盲導犬がやってきました。訓練された盲導犬のあまりの賢さに、子どもたちも驚いた様子でした。

CONTENTS

- 勝ち山夏物語
- 特集 健康長寿
- 校區別座談会報告
- 平成22年度勝山市表彰式
- 平成22年9月9日発行

歴史の散歩道

(119)

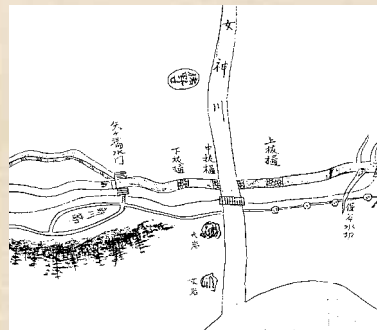
おながみ 女神川の土石流と大岩

勝山市が発行した『勝山市洪水・土砂災害ハザードマップ』は自然災害の脅威が身近なところにあることを教えてくれる。しかし、この地図は主に人家のあるところが中心であるので、九頭竜川沿いなどの危険箇所は図示されていない。

最近「深層崩壊」や「土石流」という用語が、新聞やテレビで報道され、自然災害への関心が高まっている。筆者は文化財として、「自然災害遺跡」というものを指定し、災害を啓蒙する必要があると思う。女神川では、享保十一年（一七二六）に「猪野口流れ」と呼ばれる大災害があり、その痕跡を今も見ることが出来る。

この災害があつてから、二十二年後の延享五年（寛延元年・一七四八）に「永代講」を結び、法延を催した。この時に著したものが『永代講由来記』で、災害の状況が書かれ、涙なくして読むことができない。

この記録は、一〇〇年後の百回忌に再び書写され、昭和五十年（一九七五）に『女神川大洪水猪野口村残難記』として著わされた。この残難記（残難とは、思



「大岩」「女岩」が描かれた勝山大用水図



「享保11年」の年号が彫られている「大岩」

いげけない災難にあつたことには、被災者の死者と法名、さらに「名号塚」を建て、この時の法要で拜読された「名号塚拝章」が掲載されている。また付図の「女神川災害図」は、生々しい惨状を伝える。山地崩壊が起こつたところと、その被害の範囲が書かれ、女神川が運んだ土石が九頭竜川の河床に堆積して、九頭竜川の流路が変わり、下荒井の集落も移転した。また、女神川を流れ下つた大きな岩が二個描かれている。大きい方が「大岩」、小さい方が「女岩」とあり、大岩の大きさは、手取川の百万貫石にはおよばないが、「高さ一丈四尺・廻り十四間（四メートル二〇センチ・二五メートル二〇センチ）」である。

文化財保護委員 佐野光臣

人口の動き

	7月末現在	自然動態			社会動態			8月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,599人	6	13	- 7	14	24	- 10	12,582人	- 17人
女	13,781人	5	12	- 7	16	19	- 3	13,771人	- 10人
合計	26,380人	11	25	- 14	30	43	- 13	26,353人	- 27人
世帯数	8,279世帯							8,269世帯	- 10世帯

編集後記
今年の夏は、日本全国で最高気温の記録が塗り替えられたり、猛暑日の連続日数記録がどんどん伸びたりしています。7・8月の平均気温も史上最高ということで、勝山市でも連日防災無線で熱中症予防を呼びかけました。そんな暑い夏の思い出として、勝ち山夏物語の様子を特集しました。大雨の中行われた「かちやまワッシュヨイ2010」やかちやま恐竜パレードの様子を写真でご覧ください。学校再編についての校區別座談会で、いただいたご意見や市の考え方もご紹介しています。こちらぜひ、ご一読ください。

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成22年8月末	前年比
総件数	329件	+28
人身事故 (うち高齢者)	43件 (31)	+2 (+4)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	+1 (+1)
傷者	45人	0
物損事故	286件	+26

9月の納税

- 国民健康保険税 ▶ 2期
- 納期限 ▶ 9月30日(木)
- 口座振替 ▶ 9月27日(月)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで



響



KONJIKI



鹿谷童子



CSポップスター



旭桜組



結



限界突破



乱武OHANA



福井県医療福祉専門学校〜一軌一悠〜



総踊り



ディープナチャー



蝶よ花よ組



かちやまワッショイ 2010

かちやまワッショイグランプリ 極舞人

勝山の夏を彩る

今年で9回目を迎えた勝山夏物語のメインイベント「かちやまワッショイ2010」が、元禄線とゆめおれ広場を会場に行われました。

市内9チーム、市外6チームの約400人が参加。途中の大雨でずぶ濡れになりながらも、笑顔で熱の入った踊りを披露していました。

また、沿道や広場には多くの見物客が訪れ、大雨の中でも力強く踊るチームに、大きな声援や拍手を送っていました。

審査の結果、かちやまワッショイグランプリには、初出場の「極舞人」が選ばれました。



第3位 旭町体協 チーム・ザ・夏KA舞BU喜KI



恐竜博物館開館10周年記念賞 酔・舞・心



かちやまワッショイ準グランプリ 道楽



5



6



7



8



9



10



4



1



2

- ①大師山たいまつ登山
- ②杉田二郎ライブ
- ③納涼花火
- ④ギャラリー電車
- ⑤自衛隊コンサート
- ⑥ふるさとの踊り
- ⑦平泉寺ウォーキング
- ⑧谷のはやし込み行列
- ⑨村岡山ちょうちん登山
- ⑩遊舞っさ6

勝ち山夏物語

8月8日の自衛隊コンサートを皮きりに、今年も勝山の夏を彩るイベント「勝ち山夏物語」が行われました。

今年は、県立恐竜博物館開館10周年を記念して、恐竜の格好や恐竜にちなんだパフォーマンスを行いながら通りを練り歩く「かつやま恐竜パレード 恐竜パフォーマンス大会」が行われました。

審査の結果、グランプリには「SKE15」が選ばれました。



3



かつやま恐竜パレード



- ①SKE15 (グランプリ)
- ②エコ協竜とインディージョーンズ博士 (パフォーマンス賞)
- ③チーム「太陽の広場」ジェネラル・ルージュ YEG (パフォーマンス賞)
- ④チームGEO (10周年特別賞)
- ⑤BGキング (10周年特別賞)
- ⑥ドラゴン・ファミリー「この川のほとりで」チーム (10周年特別賞)



1



3



2



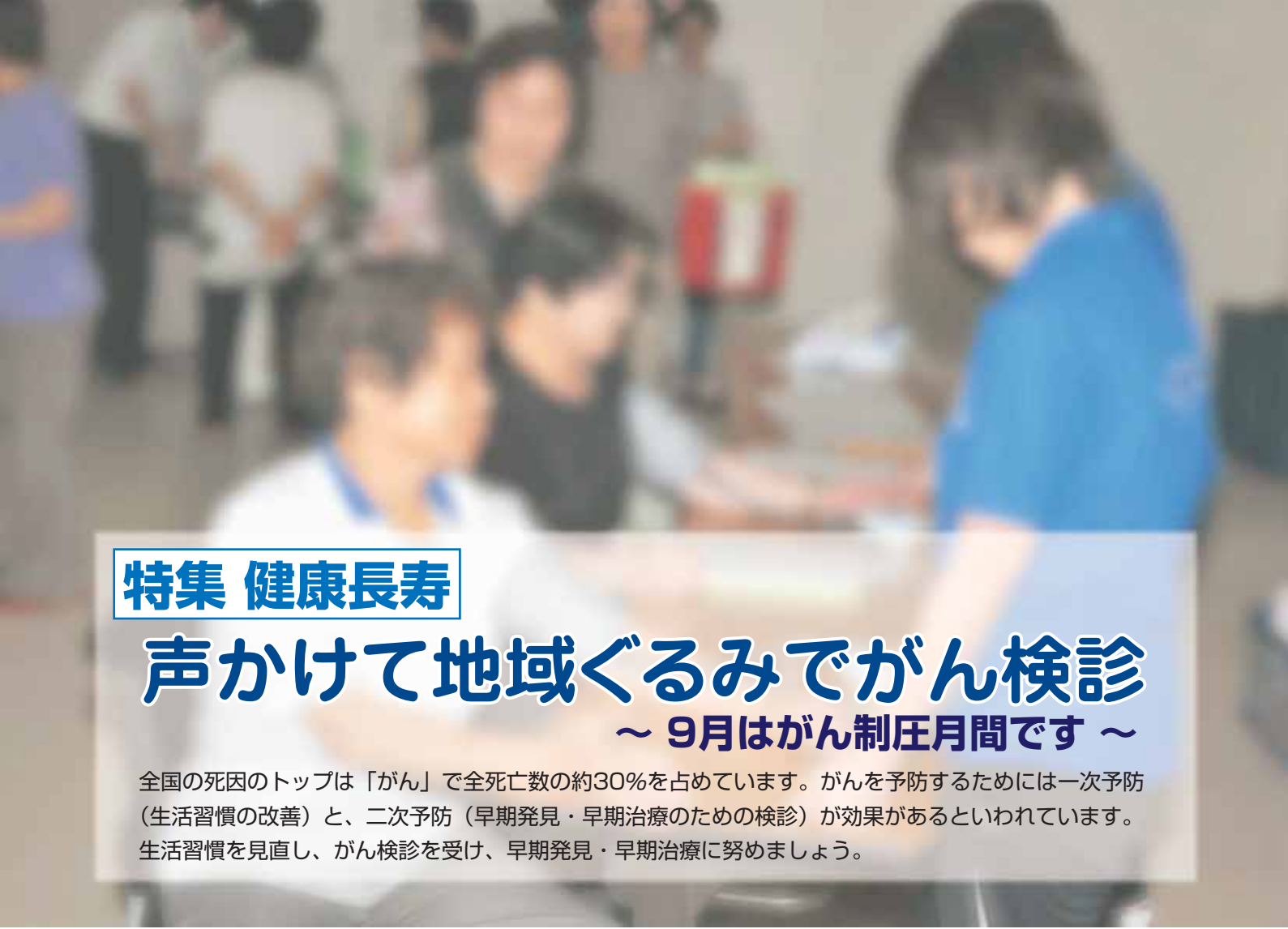
6



5



4



特集 健康長寿

声かけて地域ぐるみでがん検診 ～ 9月はがん制圧月間です～

全国の死因のトップは「がん」で全死亡数の約30%を占めています。がんを予防するためには一次予防（生活習慣の改善）と、二次予防（早期発見・早期治療のための検診）が効果があるといわれています。生活習慣を見直し、がん検診を受け、早期発見・早期治療に努めましょう。

図1 平成20年度勝山市のがん部位別死亡状況

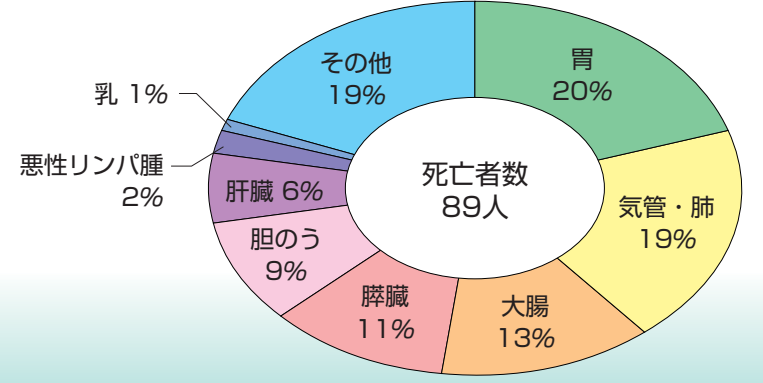
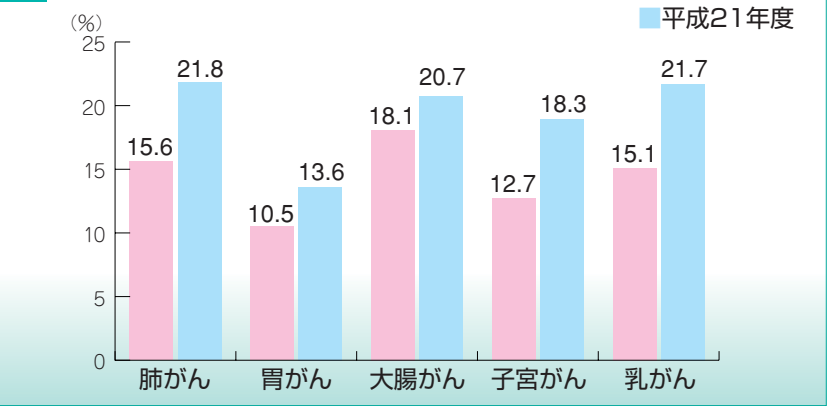


図2 がん検診受診率



■勝山市の死亡原因状況

平成20年度の勝山市の死亡原因の第1位は「がん」となっており、4人に1人は「がん」で亡くなっています。また「がん」の部位別死亡状況では、1位は胃がん、2位は気管・肺がん、3位は大腸がんとなっています。(図1)市において、がん対策は急務となっています。

■勝山市のがん検診受診状況

市では、胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がんの5つのがん検診を実施しています。がん検診の受診率向上を目指し、平成21年度からは検診料を無料とし、公民館などの会場では無料送迎バスを運行しています。各検診の受診率は図2のとおり、平成20年度に比べて平成21年度はいずれも向上しています。

■がん発見者数の状況

平成17年度から21年度までの5年間で検診を受けたかたで、がん発見者数は表1のとおりです。受診率が高い大腸がん検診や乳がん検診での発見者数が多くなっています。

表1 がん検診受診者のうちがん発見者数

平成17年度～21年度		発見者数
肺	が ん	5人
胃	が ん	2人
大腸	が ん	11人
子宮	が ん	0人
乳	が ん	8人

■検診無料化を ねんじ「受けやすい」

今年度から、従来の集団検診に加え、5つのがん検診が全て県内の医療機関でも受けられるようになりました。また、今年度初めて肺がん・大腸がん・乳がん検診を9月24日(金)の夕方に実施します。このように、市では働き盛りのかたが検診を受けやすい体制づくりに取り組んでいます。

がんを早期に発見するため、肺がん・胃がん・大腸がん検診を毎年受けましょう。また、子宮がん・乳がん検診は2年に1回は受けましょう。

「自分の健康は 自分で守る！」

「早期に乳がんが発見されて」



松山千恵子さん(66)
=遅羽町比島=

平成17年に市の乳がん検診で、がんが見つかりました。その年は遅羽公民館で初めてマンモグラフィー検査が行われたので、積極的に受診しました。検診受診後、要精密検査という結果が届き、不安を抱きながら再検査を受けました。

結果は初期の乳がん。私の場合、検診ではわからないくらいのがんでした。「初期」と聞いたからか、乳がんと言われても「仕方がないな、あかんならあかん」とあつげらんとおっしゃいました。

手術後、放射線治療とホルモン療法を受け4年半が経過した現在、再発もなく過ごせています。私は「自分の事は自分で守るしかない」、そういう思いです。検診を受けておかげで初期の段階でがんを見つけることができた。

「ぜひ、 がん検診を受診して！」

保健推進員協議会長
立平 孝子さん



今は、友達にがん検診の受診を勧められています。また検診で要精密検査となった人から相談を受けることもあります。去年から無料で市のがん検診が受けられるようになりました。がんを早期に発見するために、ぜひ、皆さんにがん検診を受けていただきたいと思えます。

勝山市には86名の保健推進員がいます。保健推進員は担当地区の赤ちゃんから高齢者までの健康づくりのお手伝いをしています。お宅を訪問したり、道で会った人や地域の井戸端会議の時に検診受診をお勧めしたり、健康について話したりしています。以前は、保険外交員と間違えられたこともあり

ましたが、保健推進員活動について地域の人にわかってもらえようになっただけではなかなか受診につながりませんが、直接会って受診を勧めると「検診の日を忘れていた」と言っただけで受診することがあります。以前、ある夫婦に「公民館で検診があるので忘れずに受けてください」と声をかけました。その人は検診を受け、早期のがんが発見され今も元気でいらっやいます。

がん検診を勧めてほんとに良かったなと思いました。「がんが発見されるのが怖い」と言っただけでがん検診を受けないかたもいます。早期に発見されると助かるので、検診をぜひ受けて欲しいと思います。昨年度からがん検診は無料で受診でき、無料送迎バスも運行されています。早期のがんなら治るので、胃がん・大腸がん・肺がん検診は毎年、子宮がん・乳がん検診は2年に1回は受けていただきたいと思えます。

かてえけのお ～長寿の秘訣を探る～

敬老の日になんで、市内の長寿の皆さんに、元気に過ごすための秘訣をインタビューしました。皆さんに共通するのは①生きがいや楽しみがある、②農作業や家事で、毎日体を動かしていることです！



デイサービスで会うのが
楽しみでのお

人生くよくよせんことやさあ

親子 小林きくをさん(荒土町 97歳)・中村澄江さん(立川町75歳)



島田よしをさん(鹿谷町 97歳)

8人家族の4世代同居。天気の良い日は毎日畑へ。よく動き、よく寝ます。スポーツ番組大好きで、サッカーW杯も見てました。



石川淳子さん(北郷町 96歳)

身体が丈夫。これまで大きな病気は無いのが自慢です。「長生きの血筋かな」。毎日午後20分かけて畑へ行きます。



西浦末治さん(荒土町 94歳)

35年間土建業をされ、今でも力が強く、体がっしりしています。お酒も好きで、毎日適量を楽しく飲まれています。



矢戸とみさん(郡町 98歳)

テレビで政治・経済やスポーツ番組を見るのが好きです。「きれい好きで、掃除をすることが元気の秘訣かもしれない」とのことです。



坂本とらさん(平泉寺町95歳)

若い頃は菊の栽培に励んでおり、今でも病院帰りに畑に立ち寄り、様子を見えています。デイサービスで地区の人と楽しく過ごしています。家の中では歩行器を使って歩き、身の回りのことはなるべく自分でするようにしています。



中村宗夫さん(片瀬 92歳)

90歳まで機業関係の仕事をされてきました。長寿の秘訣は、「今まで体を鍛えてきたからだと思う。普段から歩くようにしている。」とのこと。



大竹口新吉さん(87)
きぬ子さん(82)夫妻 北谷町

新吉さんは「昔から太鼓や踊り、歌が好きで、今でもお盆には仲間と楽しんでいます」。きぬさんは「自分が畑で作ったものを食べているのが健康に良いのでは」と話されました。



松山たねさん(遅羽町 95歳)

松山さんの長寿の秘訣は「その日一日を後悔のないように暮らしていること」です。毎日規則正しい生活をし、仏様に感謝して暮らしています。



武田よし子さん(野向町 92歳)

毎日のラジオ体操と、月2回のダンベル体操を欠かさずに行っています。長寿の秘訣は「規則正しい生活を送ること、いつも他の人への感謝の気持ちを持つこと」とのことです。

健康一番！長寿体操教室好評開講中！

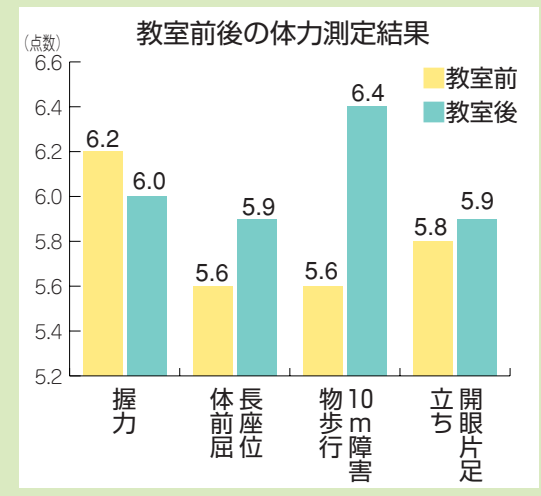
勝山市では長寿体操教室を開講中です。今後も各地区で展開していく予定です。

【教室の内容】

長寿体操教室では、初回と最終回に体力測定を行います。事前の体力測定では自分の運動能力を確認してもらいます。結果が悪かった人も、教室で体操に取り組み、最終回での結果の改善を目指します。



野向地区の様子



【教室の成果】

上のグラフは、教室が終了した地区の体力測定の結果です。測定値を点数に変えて示しています。ほとんどの項目において結果の改善が見られました。教室に参加し運動を勉強したことで運動の機会が増え、その結果で改善がみられたのではないかと考えられます。身体は動かさないと衰えていきまます。「できたはず」のことができなくなる前に、運動の習慣を身につけましょう。

【参加者まだまだ募集中！】

今後も9月～3月の間に猪野瀬、遅羽、平泉寺、北郷、荒土地区で介護予防教室を開講します。運動がしたいかたや、とにかくおしゃべりしたいかた、認知症予防、お口の健康に興味があるかたはぜひ参加してください。

勝山地域包括支援センター

「やんぱん」
(0000-87-0000)

